

愛知県アレルギー疾患医療連絡協議会について

協議事項（設置要綱）	今年度		来年度以降
	第1回協議会	第2回協議会	
1 拠点病院で実施する調査、分析を参考に、地域におけるアレルギー疾患の実情を把握すること	今年度実施する実態調査(案)について協議する。 (別添1参照)	実態調査の結果により、県の実情を把握し、県の施策の方向性を協議する。	第2回連絡協議会の内容を踏まえ、必要な調査を実施する。
2 拠点病院を中心とした診療連携体制の在り方を検討すること			アレルギー疾患医療の実情把握の結果を踏まえ、診療連携体制の在り方を検討する。
3 情報提供(患者やその家族に対する定期的な講習会、地域住民に対する啓発活動等)に係る施策を企画、立案すること	今年度開催予定の講演会に対して、内容や周知方法等について協議する。 (別添2参照)	実施結果を踏まえ、来年度の講演会等の方向性を協議する。	情報提供に係る施策の方向性について協議する。
4 医療人材の育成(アレルギー疾患に携わる医療従事者の知識や技能の向上に資する研修等)に対する拠点病院の関わり方を検討すること	今年度開催予定の研修に対して、内容や周知方法等について協議する。 (別添3参照)	実施結果を踏まえ、来年度の研修等の方向性を協議する	拠点病院が主体的に関わる医療人材の育成について協議する。
5 福祉人材等の育成(保健師、栄養士や学校、児童福祉施設等の教職員等への講習会等)に対する拠点病院の関わり方を検討すること	今年度開催予定の研修に対して、内容や周知方法等について協議する。 (別添4参照)	実施結果を踏まえ、来年度の研修等の方向性を協議する	拠点病院が主体的に関わる福祉人材等の育成について協議する。
6 拠点病院の活動実績等を定期的に評価すること並びに拠点病院の選定及び見直しに関すること		今後、拠点病院連携会議(※)において拠点病院の報告事項を検討した結果に対して、協議する。	連絡協議会において、各拠点病院の取組結果を評価する。
7 その他アレルギー疾患対策全般の施策に関すること			

※拠点病院連携会議…拠点病院である6病院の実務担当者及び県の担当者により、連絡協議会協議事項に係る実務的な検討を行う会議

県が実施するアレルギー疾患における実態調査（案）

(1) 連絡協議会委員に対する調査（様式 1）

〔内容〕

- ・各所属で実施している説明会や研修等のなかで、アレルギー疾患に関する内容を行っている場合、その内容
- ・各所属における、アレルギー疾患に関する問題等。

〔実施方法〕 委託（連絡協議会事務局に委託）

(2) 日本アレルギー学会専門医が所属する医療機関に対する調査（様式 2）

県内医療機関でのアレルギー疾患医療の実情を把握し、実施状況の一覧を県ホームページに掲載することで、患者やその家族に対する情報提供を行う。

〔内容〕 アレルギー疾患医療の実施状況

- ・食物経口負荷試験実施の有無
- ・アレルギー免疫療法及びその他の治療法実施の有無
- ・皮膚テスト（プリックテスト・パッチテスト）実施の有無
- ・患者に対するエピペン自己注射の指導管理の有無及び実施者
- ・看護師による患者に対するスキンケア指導有無
- ・薬剤師による患者に対するアレルギー疾患治療薬の服薬指導の有無
- ・栄養士による食物アレルギー患者に対する栄養指導の有無
- ・保育施設・学校等の生活管理指導票作成の有無
- ・災害時対応の有無

〔実施方法〕

県（郵送により実施）

連絡協議会委員に対する調査（拠点病院を除く）（委託事業）

委員所属 _____

委員氏名 _____

愛知県アレルギー疾患実態調査票（案）

- 1 委員の所属する団体において実施している説明会や研修会等のなかで、アレルギー疾患に関する内容を行っている場合は、その内容をお教え願います。

※資料等がございましたら、添付をお願いします。

- 2 委員の所属する団体において、アレルギー疾患に関する問題等がございましたら、ご記入をお願いします。

提出期限：平成30年12月20日（木）

提出先：藤田医科大学総合アレルギーセンター（藤田医科大学ばんだね病院内）

メールアドレス：a-center@fujita-hu.ac.jp

ファクシミリ：052-322-4734

日本アレルギー学会専門医が所属する医療機関に対する調査（拠点病院除く）

愛知県アレルギー疾患医療に関する調査票（案）

医療機関名	
所在地	
〔連絡先〕 氏 名	
電話番号	
F A X 番号	
メールアドレス	

※ 下記内容について、該当する方に○を付け、必要事項を記入してください。

1 県のホームページへの掲載希望

有り ・ 無し ・ 一部非開示（非開示事項： _____ ）

アレルギー疾患患者やその家族が受診する際の参考となるため、この調査結果を医療機関ごとの一覧表として作成し、県のホームページに掲載する予定です。

2 アレルギー疾患医療について

(1) アレルギー疾患診療を行っている診療科目（複数選択可）

内科 ・ 呼吸器科 ・ アレルギー科 ・ 小児科 ・ 皮膚科
耳鼻咽喉科 ・ 眼科 ・ その他（ _____ ）

(2) 食物経口負荷試験の実施 有り・無し

(3) プリックテストの実施 有り・無し

(4) アレルゲン免疫療法の実施 有り・無し

(5) パッチテストの実施 有り・無し

- (6) 生物学的製剤による治療の実施 有り・無し
- (7) 看護師による患者に対するスキンケア指導 有り・無し
- (8) 薬剤師による患者に対するアレルギー疾患治療薬の服薬・吸入指導 有り・無し
- (9) 栄養士による食物アレルギー患者に対する栄養指導 有り・無し
- (10) 患者に対するエピペン®自己注射の指導管理 有り・無し

[有りの場合、その実施者（複数選択可）]

医師 ・ 薬剤師 ・ 看護師 ・ その他（ ）

- (11) 保育施設、学校等に係る「生活管理指導表」の作成 有り・無し
- (12) 小児アレルギーエデュケーターの在籍 有り・無し

[有りの場合、その職種（複数選択可）]

看護師 ・ 栄養士 ・ 薬剤師

3 災害時に対する独自の備えがございましたらご記入ください。

4 アレルギー疾患医療に関し、課題、問題点等がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

情報提供（患者家族向け講演会）（案）

〔開催日〕平成31年1月9日（水）14:00から16:00

〔場所〕日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

〔定員〕300名（事前申込制、申込者数によっては当日受付可）

〔実施方法〕委託（連絡協議会事務局に委託）

〔内容〕

テーマ：医療機関との上手な付き合い方

【はじめに】

- ・愛知県におけるアレルギー疾患対策について

講師：愛知県アレルギー疾患医療連絡協議会会長

【プログラム】

- ・食物アレルギーの最前線

講師：伊藤浩明（あいち小児保健医療総合センター副センター長）

- ・気管支喘息など呼吸器アレルギーの最前線

講師：堀口高彦（藤田医科大学医学部 呼吸器内科学Ⅱ教授）

〈患者さんが安心して安全な日常生活を送るために〉

講師：園部まり子（NPO法人アレルギーを考える母の会）

〈ディスカッション〉

アレルギーの悩みをみんなで話そう

〔周知方法〕

周知対象：アレルギー疾患患者及び家族、アレルギー疾患医療に関心のある方

周知方法：県や拠点病院のウェブサイト、広報誌などに掲載。チラシを作成し、各市区町村役場や保健所、児童施設、病院等への掲示板への貼付、新聞の折り込みなどで患者や一般市民へ周知する。

〔開催日〕平成31年3月17日（日）14:00 から 16:00

〔場所〕名古屋国際会議場 白鳥ホール

〔定員〕200名（事前申込制、申込者数によっては当日受付可）

〔実施方法〕委託（連絡協議会事務局に委託）

〔内容〕

テーマ：医療機関との上手な付き合い方

【はじめに】

- ・愛知県におけるアレルギー疾患対策について

講師：愛知県アレルギー疾患医療連絡協議会会長

【プログラム】

- ・食物アレルギーの最前線

講師：未定

- ・気管支喘息など呼吸器アレルギーの最前線

講師：未定

〈患者さんが安心して安全な日常生活を送るために〉

講師：未定

〈ディスカッション〉

アレルギーの悩みをみんなで話そう

〔周知方法〕

周知対象：アレルギー疾患患者及び家族、アレルギー疾患医療に関心のある方

周知方法：県や拠点病院のウェブサイト、広報誌などに掲載。チラシを作成し、各市区町村役場や保健所、児童施設、病院等への掲示板への貼付、新聞の折り込みなどで患者や一般市民へ周知する。

人材育成（医療関係者向け研修）（案）

〔開催日〕平成30年12月8日（土）14:00 から 16:00

〔場所〕名古屋ルーセントタワー16階

〔定員〕150名（事前申込制）

〔実施方法〕委託（連絡協議会事務局に委託）

〔内容〕

テーマ：愛知県におけるアレルギー診療の目指す姿

【はじめに】

- ・愛知県でのアレルギー疾患対策医療について

講師：愛知県アレルギー疾患医療連絡協議会会長

【プログラム】

〈疾患別アレルギー診療の最新情報〉

- ・気管支喘息

講師：若原恵子（名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科講師）

- ・アトピー性皮膚炎

講師：矢上晶子（藤田医科大学医学部 総合アレルギー科教授）

- ・アレルギー性結膜炎

講師：平野耕治（藤田医科大学医学部 眼科教授）

- ・アレルギー性鼻炎 ～花粉症～

講師：中田誠一（藤田医科大学医学部 耳鼻咽喉科学Ⅱ教授）

〈ディスカッション〉

これからのアレルギー疾患の医療で私たちに期待されていること、できること

〔周知方法〕

周知対象：医師、看護師、薬剤師、検査技師、その他の医療従事者、保健師、
栄養士

周知方法：県や拠点病院のウェブサイト、広報誌などに掲載。チラシを作成し、関係団体などに配布依頼する。

人材育成（教育関係者向け研修）（案）

〔開催日〕平成31年2月17日（日）14:00 から 16:00

〔場所〕名古屋ルーセントタワー16階

〔定員〕150名（事前申込制）

〔実施方法〕委託（連絡協議会事務局に委託）

〔内容〕

テーマ：愛知県における教育機関でのアレルギー疾患対策のあるべき姿

【はじめに】

- ・愛知県が目指す教育現場におけるアレルギー疾患対策
～今後の体制について～

講師：愛知県アレルギー疾患医療連絡協議会会長

【プログラム】

〈教育現場で配慮が必要なアレルギー診療の課題〉

- ・アトピー性皮膚炎

講師：愛知県拠点病院から皮膚科医

- ・学校給食の課題について

講師：縣裕篤（愛知医科大学病院 小児科教授）

- ・アレルギー性鼻炎 ～花粉症～

講師：内藤健晴（藤田医科大学医学部 耳鼻咽喉科学 I 教授）

〈教医連携〉

- ・教育機関と医療機関がどのように連携すべきか

講師：坂本龍雄（NPO法人アレルギー支援ネットワーク理事長）

講師：中西里映子（NPO法人アレルギー支援ネットワーク常務理事）

〈ディスカッション〉

これからのアレルギー疾患の医療で私たちに期待されていること、できること

〔周知方法〕

周知対象：学校や児童福祉施設等の教職員（養護教諭、栄養士）、保育士、幼稚園教諭、保健師

周知方法：県や拠点病院のウェブサイト、広報誌などに掲載。チラシを作成し、愛知県・市区町村の教育担当部署等に配布依頼する。